

年頭の

あいさつ



豊山町議会議長

水野 晃

新年あけましておめでとうございます。新春にあたり町民の皆様がご健勝で新しい年を迎えられましたことに心からお慶び申し上げます。

全国的に人口減少、高齢化が進展する中、昨年は、過疎化の進む自治体において議員の担い手不足から議会に代わり全住民による町村総会の設置を検討する動きもありました。人を呼び込むまちづくりを進めることは、健全な民主主義を維持するためにも不可欠であることを改めて認識させられました。

本町では、十一月三十日にあいち航空ミュージアムがオープンしました。これを契機にして、豊山町に多くの人が集まり、訪れたいくなるような町にしていかなければなりません。

そのためにも、行政と議会が力を合わせて取り組んでまいります。

最後に、町民の皆様のご多幸を祈念するとともに、本年もよりよいまちづくりのためのご支援とご協力をお願い申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。

平成三十年元旦

年頭の

あいさつ



愛知県知事

大村 秀章

あけましておめでとうございます。

昨年は、愛知総合工科高等学校専攻科の公設民営化や、遠隔型自働運転システムの実証実験、あいち航空ミュージアムのオープン、スタジオリブリ作品をテーマとした「ジブリパーク構想」の立ち上げなど、全国初となる取組、愛知ならではの取組にチャレンジした一年でした。また、アメリカ、ベルギー等の地域と相互協力等の覚書を締結し、海外とのパイプを一層強固にした二年でもありました。

今年も、愛知の総合力を更に高めるとともに、未来へと続く取組を愛知の発展の種として、しっかりと芽吹かせ、着実に育んでいく一年にしてまいります。

そのためには、リニア開業に向け、鉄道・道路網の強化など中京大都市圏づくりを着実に進めながら、次世代産業の育成・振興、企業立地の促進、中小企業支援、農林水産業の強化、国際展示場の整備などにより、愛知の産業競争力を二層強化してまいります。

また、ジブリパークの二〇二〇年代初頭の開業を目指し、夢とファンタジーあふれるジブリの世界を創り上げていけるよう、しっかりと取組を進めてまいります。

さらに、認知症にやさしいまちづくりを目指す「オレンジタウン構想」や子どもの貧困対策の推進、スポーツや文化芸術の振興、教育・人づくり、防災、環境、東三河地域の振興などに力を注ぎ、「日本一住みやすい愛知」づくりを進めてまいります。

今年も、「日本一元気な愛知」の実現に向け全力で取り組んでまいりますので、一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

平成三十年元旦